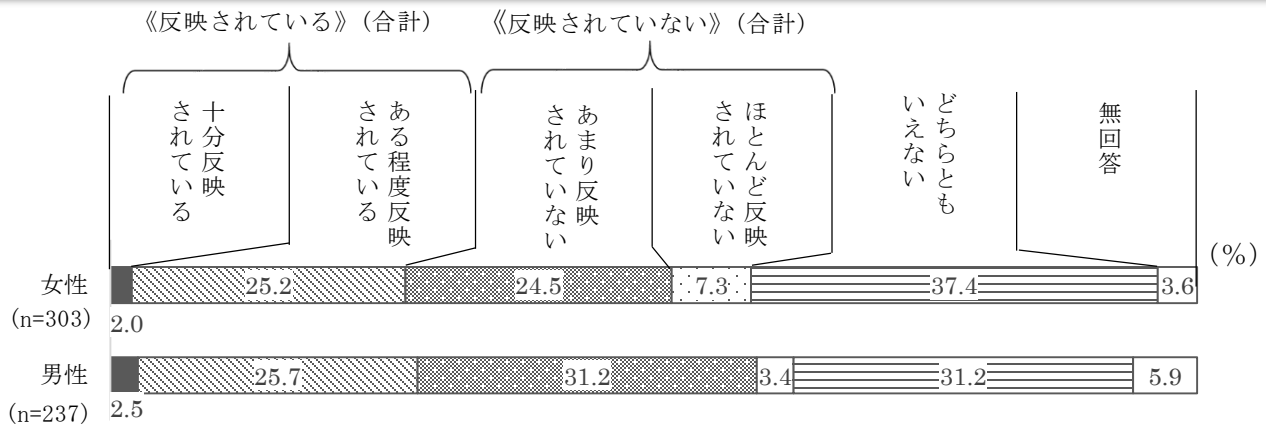


## 5 社会参加について

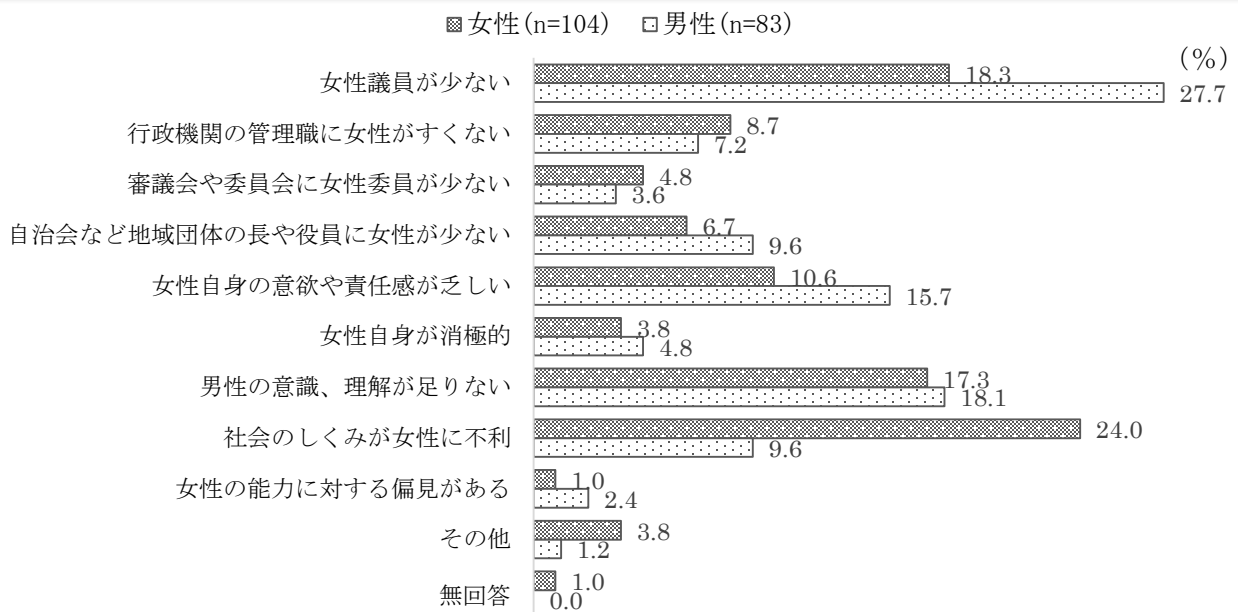
### 1 地方自治体などの施策への女性の意見・考え方の反映度

男女ともに《反映されていない》(合計)が、《反映されている》(合計)を上回っています。



### 2 女性の意見や考え方が反映されていない理由

女性は【社会のしくみが女性に不利】が最も高く、男性は【女性議員が少ない】が最も高くなっています。

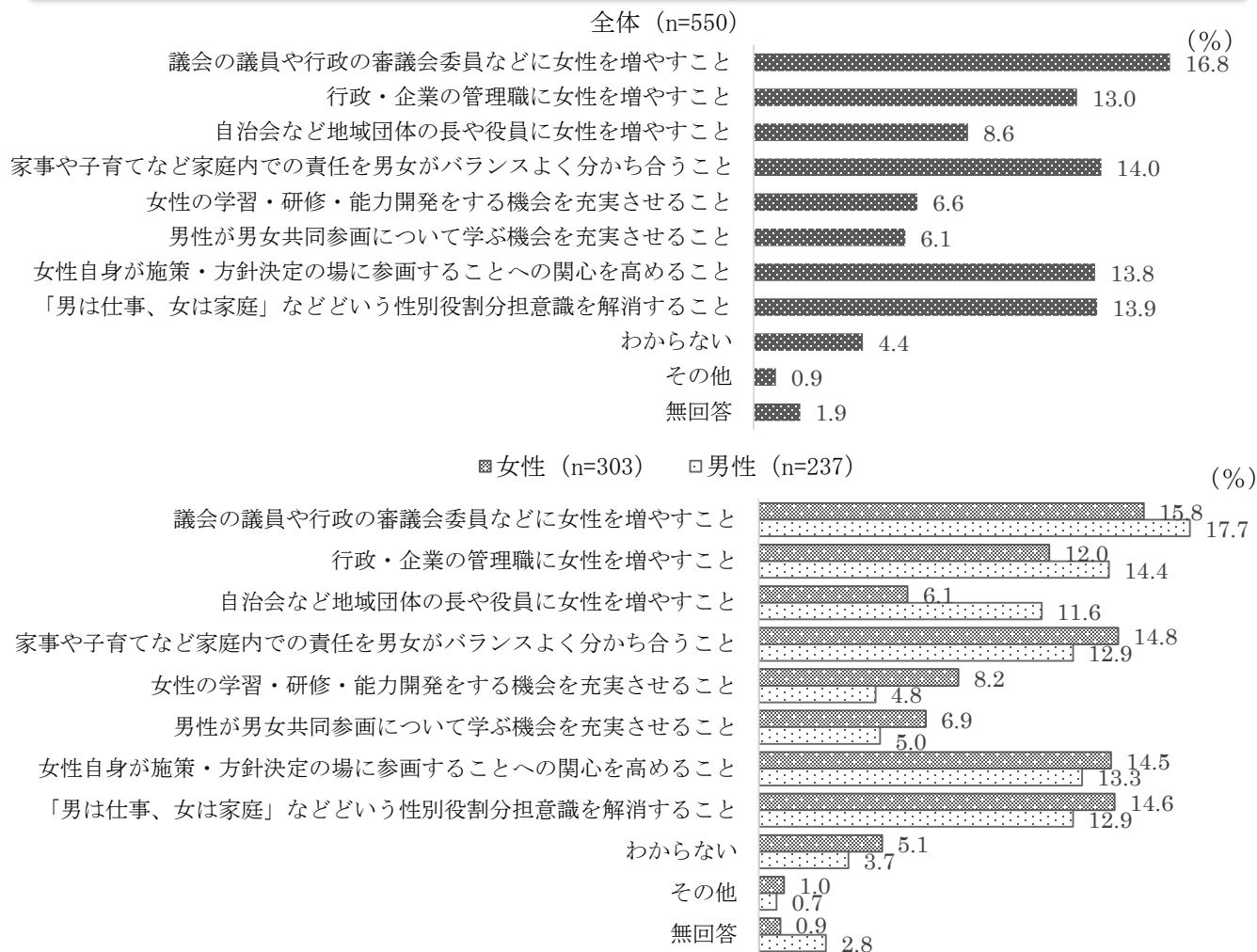


【その他】を選択した方の意見

- ・学校行事で父親参加が少なく、母親が参加できないことに引け目を感じ、父親も参加しにくくなっている。
- ・女性が働きやすい社会になっていない。
- ・社会（地方自治体）での考えそのものが男性基本の考えだから。
- ・反映されているのかいないのか、わかりにくい。
- ・男性主導の構図がなくならないため。

### 3 女性が政策・方針を決定する場に進出するために必要なこと

全体・性別ともに【議会の議員や行政の審議会委員などに女性を増やすこと】が最も高くなっています。男性は【自治会など地域団体の長や役員に女性を増やすこと】が女性のほぼ倍の数値になっています。



#### 【その他】を選択した方の意見

- ・女は出すという風潮がある。
- ・実力がものをいう社会にすればいい。性別ではなく、能力が備わっているかが重要。
- ・このアンケートのように、主婦層へ参画する意欲を上げる（在宅参画）。
- ・男性が「女性が進出する為に何が必要か、どうすれば良いか」を考えること。少数の女性から「もっと増やすには」と考えても「男性社会」で消されてしまう。
- ・政治に関わる男性こそ家事・育児にたずさわること。当事者にならないと改善は望めない。
- ・進出にあたって、今できる事を一生懸命することが大事で、決定する場に進出するには、このような事に興味をもつ事だと思う。
- ・女性が社会に参加しようという意識を高めること。
- ・学校生活の中で、女性が消極的にならないようにする。